



蔵 DE Books  
としよだより

# ほんとしおり

Vol. 2

2016年6月発刊



## 本とお出かけ

前回の「ほんとしおり」から早3ヶ月。寒い季節は過ぎ、桜が散り、今は記念館の庭にいろんな草花達が顔を見せています。様々な生命が本格的に動きだす季節。人間だっとうかうかしてはいられません。山へ、川へ、海へ。そして街へ。

というわけで、我々としよがかりメンバーも、蔵を飛び出し、PRがてら本を抱えて長峰公園へ（詳しくは3頁へ）。青空の下、初夏の風を満喫しました。公園にあるつつじの道を抜けて高い塔を登ると、晴れ渡る空を背景にでーんと構える高原山の姿。この山も、もしかしたら私たちと一緒にこの季節を楽しんでいるのかな。そう思わせるくらい爽快な景色でした。

蔵DE BOOKSは利用者は残念ながらまだまだ少ないですが、でもそんな状況ですら楽しみに変えてしまうのが、我々の良いところ。次はどんな面白いことをしようかといつもワクワクしています。

私たちのワクワクの先には、また違う人たちのワクワクがあって、その先にはまた違う誰かの・・・。それがいつの日か、この澄んだ青空くらいどこまでも広がっていければ、そんなことを考えていました。



ほんとしおり  
Vol.2  
2016年  
6月発行

本とお出かけ

- 3 外で読書日和 ～出張！蔵DE Booksをやってみたく～
- 4 春風にそよぐ桜に誘われて、今年もいろいろやってみました！
- 6 本棚拝見。第2回 土屋光由さん

- 8 としよがかりの声 その① 旅×本 第二回 「信貴山縁起絵巻」&まちライブラリー（大阪）
- 10 としよがかりの声 その② カステラがカステラになるということ 第1話

- 11 おすすめの本「一ドルの価値／賢者の贈り物」としよがかりの声その③ 遠野物語と妖怪①マヨヒガ
- 12 ご案内 蔵のイベント情報／利用案内／寄贈について

＜芽吹きの季節＞



作 Kana

外で読書日和

～出張！蔵DE Booksをやってみたく～

五月八日。晴天。  
今日は長峰公園で出張版蔵DE Booksを開催しました。青空の下で読書というのはやはり新鮮で、いつも読んでいる本の新しい面が見つかる気がします。  
また、休日の公園は人が多くいて、宣伝という意味でも効果的な場所です。

ただ今回は大きな看板が用意できなかったのと、イマイチ目立たない場所でブースを広げたため、あまり目立たないで終わってしまったのも否めません。今度は大きな宣伝用看板、わかりやすい場所にブースを広げるなど目立つことを第一にやっていくのが大きな課題になると思います。  
また本の展示以外にも何かアピールポイントがあるといいと考えました。たとえばカフェも出張し、飲み物やお菓子の提供を行うなどきてくれたお客様を楽しませていけたらいいなど。  
まだまだ改善点が多い企画ですが、今後は大きなイベントにしていきたいです。

たまには蔵でゆっくり読書でもいかがですか？



としよがかりメンバーと、メンバーのマンドリン。

～「ほんとしおり」について～  
昨年秋にオープンした蔵DE Booksを、たくさんの人に親しみをもって利用してほしいという思いで作っています。  
矢板武記念館の蔵を人と文化が交わる場所に再生することを目的とした蔵\*武project。その中から有志数名が「としよがかり」として蔵DE Booksの管理、運営をしています。  
本好き、旅好き、カフェ好き、元バンドマン（キーボード担当）。ちょっと不思議なとしよがかりメンバーによる自由気ままな読み物や、本にまつわるあれこれ、そして蔵のイベント情報を楽しく元気にお届けいたします。

本にしおりを  
はさんたら、  
一息ついて次  
は何する？

（上）トランクに詰めた絵本や漫画（上）と賑やかな公園の様子（下）



春風にそよぐ桜に誘われて、今年もいろいろやってみました！

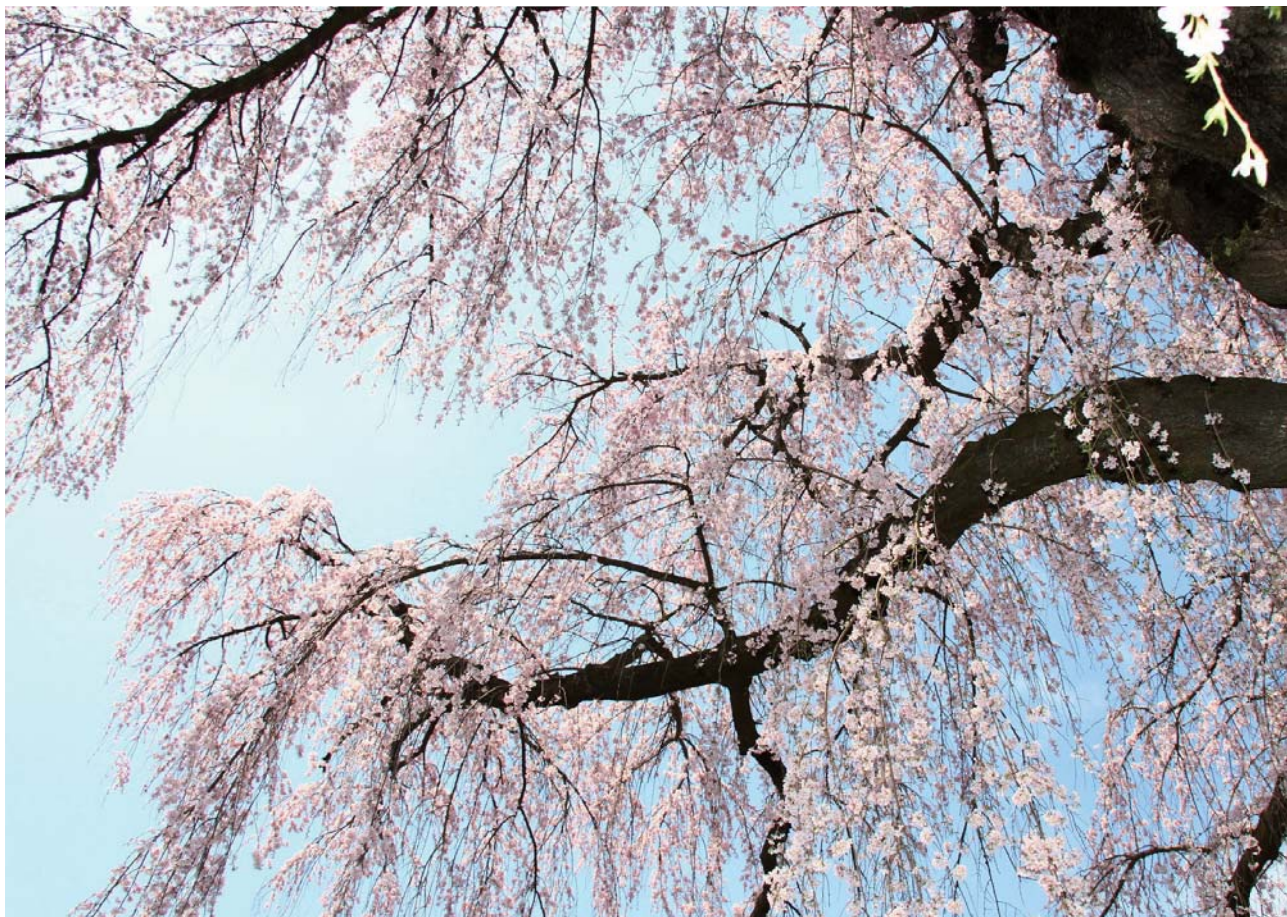
満開のしだれ桜の下、  
今年もたくさんの方の  
笑顔がありました。

矢板武記念館といえば、なんといっても見事なしだれ桜。今年は天候などの影響で例年より一週間ほど遅れ4月の初めに満開。毎年見に来てくれる方や、新聞を見て遠方から来た方など、多くの花見客で賑わいました。ある方は、これまで全国のしだれ桜



(上) 花見客が続々入る蔵2つの蔵。  
(下) 今年も見事に咲いたシダレ桜。

を見てきたけれど、このシダレ桜が一番立派だとのこと。矢板市民として、とても誇らしく思います。



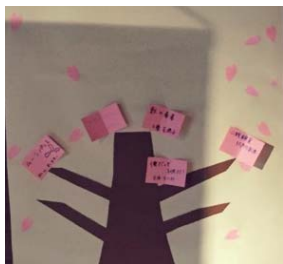
桜に、カフェに、  
写真に、そして・

満開の桜をもりあげようと、我らが蔵\*武projectも東蔵にて「サクラ\*サクカフェ」をオープン。「去年上がった2階にまた上がりた」というお子さんもいて、蔵での時間を楽しみにしてくれていることに嬉しくなりました。西蔵では市内三つの高校の作品を展示した「ぼ蔵の写真展」を開催。こちらも「素晴らしい」との声が多数あり、好評でした。そしてとしよがかりメンパーも、左のような「蔵DE BooksをPRしよう大作戦」を決定しました。

本の花を咲かせよう！

あなたのオススメの本を教えてください！！  
～本の花を咲かせよう～

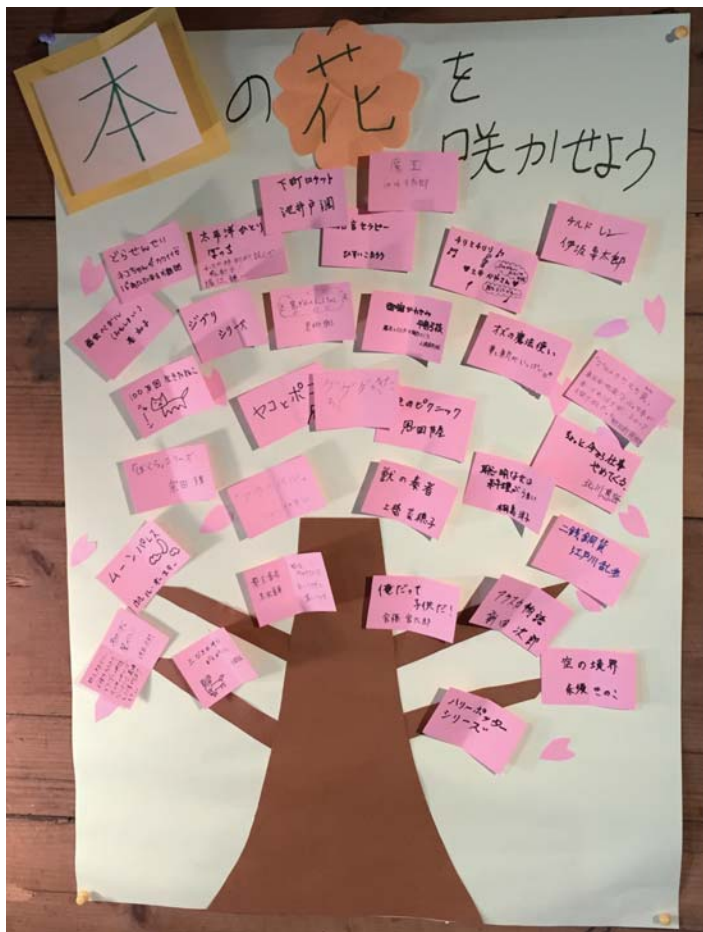
①みんな書いてくれるかな。



②咲き始めはさびしい...

③と思ったらこんなに！絵本から純文学まで彩り豊かな32冊。

みんなで本の面白さを分かち合えるような場所になりたいなと考える蔵DE Books。そこで、今回は本の形の花びらに、自分の好きな本を書いてもらいました。花びらを桜の木に貼って。本の桜も本物に負けない見事な花を咲かせました。



### お花見に来た人達おすすめの本、32冊はこちら！

※赤字の本は蔵にあります。

- ・「アラスカ物語」/新田 次郎
- ・「天切り松 闇語り」/浅田 次郎
- ・「冬虫夏草」/梨木 香歩
- ・「白いウサギと黒いうさぎ」/ガース・ウィリアムズ
- ・「御宿かわせみ」/平岩 弓枝
- ・「空の境界」/奈須 きのこ
- ・「三びきやぎのがらがらどん」/北欧神話
- ・「俺だって子供だ」/宮藤 官九郎
- ・「二銭銅貨」/江戸川 乱歩
- ・「ドラせんせい」/いもと ようこ
- ・「アライバル」/ショーン・タン
- ・「獣の奏者」/上橋 菜穂子
- ・「聡明な女は料理がうまい」/桐島 洋子
- ・「ちょっと今から仕事やめてくる」/北川 恵海
- ・「100万回生きたねこ」/佐野 洋子
- ・「ヤコとポコ」水沢 悦子

時は大正ロマン。人情溢れる泥棒の話。今の時代にはないような義理と人情に泣ける...

幕末の江戸を舞台にした人情捕物帖

ネコちゃんがかわいい。心温まるお話。

- ・「ゲゲゲの鬼太郎」/水木 しげる
- ・「夜のピクニック」/恩田 暁
- ・「プロメテウスの罠」/朝日新聞特別報道部
- ・「弱虫ペダル」/渡辺 航
- ・「ムーンパレス」/ポール・オースター
- ・「窓際のトットちゃん」/黒柳 徹子
- ・ジブリシリーズ
- ・「オズの魔法使い」/ライマン・フランク・ボーム
- ・ぼくらシリーズ/宗田 理
- ・「太平洋ひとりぼっち」/堀江 謙一
- ・「名言セラピー」/ひすい こうたろう
- ・「ちりとちりり」/土井 かや
- ・「下町ロケット」/池井戸 潤
- ・ハリーポッターシリーズ/J・K・ローリング
- ・「魔王」/伊坂 幸太郎
- ・「チルドレン」/伊坂 幸太郎

東日本大震災のことが書いてありますが、ショックを受けました。

愛と勇気がいっぱい。

小三の時、初めて読んだ感動本。

二人のかわいい双子の話。絵もかわいい。

桜の花が次々に咲いていくように、本の楽しみ方も無限にあるのかもしれない。普段は読まないジャンルにも挑戦してみようかななんて思った春の始まりなのでした。書いてくださった方々ご協力ありがとうございました！



本棚は、心を映す鏡なり。

# 本棚 拝見。

## 第二回 土屋 光由さん

続くと思わなかった  
このコーナー。  
今回は図書メンバ  
の小学1・2・3年生  
の時の担任・・・の旦那  
様にお話を伺いました。



2歳の可愛いお孫さんと読む童話絵本。



(上) 離れにある書斎。本の多さにびっくり!!  
(左下) 第二の書斎! 立派な柱と床の間。のびのびできそう。  
(右下) お庭の一角のイングリッシュガーデンには季節の草花。

にありがとうございました。家に帰り一  
読して思わずホロリ。うっかり人前では  
読めない心温まるすてきな本でした。

### 英語と日本語

母国語として日本語を使い、そして日々  
英語に接する土屋さんに、それぞれの言  
語の特徴を伺いました。日本語は言葉に  
深みがあり、英語は音としての美しさを  
感じるという事でした。母語ではない英  
語は、生活の汚れが無く本を純粹に読め  
るそうです。普段何気なく使っている

「ことば」ですが、日本語と英語で読み

比べてみるのも楽しいかもしれませんね。

### 英語のスピーチ

昔は、英語教師は英語の読み書きが教  
えられればそれでいいという考えでしたが、  
いつからか会話能力も求められるように  
なったそうです。その取組の一つとして、

生徒に英語のスピーチを暗記してもらい  
その後アメリカに旅行して、昔実際にス  
ピーチが行われた公園で英語でスピーチ  
をしたとのこと。当時の様子をいきいき  
と話してくれました。行動力と度胸に脱  
帽です。それから、英語のスピーチを覚  
えるのが朝の習慣になり、教師生活を終  
えるまでずっと続けたそうです。「継続  
は力なり」の一例を教えてくださいました。  
私も見習いたいです。

### 英語に触れる

英語にちよっぴり苦手意識を持つ図書  
メンバーから、土屋さんに質問。ずばり、  
「英語を好きになるには?」土屋さんの  
お奨めは、「英語の本を読むこと」だそ  
うです。ストーリー性があり、先の展開を  
考えドキドキわくわくする本を読むのが

おススメだそうです。  
手に取り見せていた  
だいたいた本の中に  
は、私たちになじみ  
のある本の英語版も

(上) 自ら翻訳した「心にくる物語」。  
(下) あの映画の原作! 読んでみたい。



いざ本棚拝見!の前に、ご自分で手入  
れをしているという庭を案内してもら  
いました。春の盛りに、色とりどりの花  
が咲き乱れた庭。大好きなイギリスのイ  
ングリッシュガーデンを手本にしてい  
るそうです。長く教師生活を続けていた  
土屋さん、「人も植物も育てるのは一  
緒。」愛情たっぷり育てられた草花は  
キラキラと輝いていました。

### 英語の本

高校の英語教師だった土屋さん。本棚  
にも英語の本がズラリと並んでいます。  
紹介してもらった本は『Best Stories  
From Chicken Soup for Soul & others』。  
アメリカを旅行した際に購入したそう  
ですが、実はこの本は日本語訳されてい  
なかったそうです。生徒にぜひ読んで  
らいたいと、なんとご自分で翻訳して生  
徒に配ったそうです。お土産にと一冊ず  
ついただいでしまったメンバー。本当



も。部屋も。庭...  
ギターは窓の外に...  
た。窓の外に...  
た。窓の外に...  
た。窓の外に...

ちらほら。大好きな本を英語で読み、日  
本語と英語それぞれ違った良さをじっ  
くり味わうのも、読書のすてきな楽し  
み方ですね。

### 好きな事を見つけ、続ける

土屋さんはずっと続けていることとし  
て、読書と庭仕事をあげてくれました。  
好きな事をお話する土屋さんはとても  
イキイキとして楽しそうでした。好き  
じゃないと続かない。何が好きかは自分  
自身で見つけなければ...。自分が何十年  
後に変わらず好きでいられることは何  
だらうと思わず自問自答。いつか私だけ  
の、ずっと続けられる「好きな事」をみ  
つけたいです。

としよ  
がかり  
の声  
その①

# 旅の本

文/写真  
やよい

## 第二回

奈良の信貴山縁起絵巻と  
大阪のまちライブラリー



今回の旅のお目当ては、「信貴山縁起絵巻」  
& まちライブラリー（三大阪）の見学です。



一日目

さすが三の奈良……。観光客でいっぱいです。

青々と茂る街路樹に心癒され、道路標識を見て  
にやりとし、まずは奈良県立美術館へ行きまし  
た。そして次は、旅のメインの一つ、奈良国立博  
物館の企画展「国宝信貴山縁起絵巻 朝護孫  
子寺と毘沙門天王信仰の至宝」を見学しまし  
た。絵巻物という性質上、見る人も一列に並ん  
でみるのですが……。巻物にたどり着くのに30  
分かかりました（泣）

注意！  
鹿



『信貴山縁起絵巻』

日本三大絵巻の一つで、信貴山を舞台にした  
全三巻の絵巻物。詳しくは、記念館の蔵におい  
てある『躍動する絵に舌を巻く 信貴山縁起絵  
巻』をご覧ください♡

さくつと春日大社を見学し、お昼は奈良名物  
（茶粥・柿の葉寿司・くずもち）を楽しんで、  
少し早めに一日目のお宿、信貴山へ。大きな寅  
の張り子がお出迎えしてくれました！夜は豆腐  
たっぷり、の精進料理をいただきました（しば  
らく豆腐は見たくない……）。

二日目

朝の四時半。まだ肌寒い澄んだ空気の中、お  
坊さんたちのお勤めを見学させていただきました  
した。そして朝ごはんをいただいた後は、レッ  
ツ山登り！ゼーゼー言いつつ（ああ運動不  
足……）何とか山を登って、空鉢さんまで到着  
しました。

たっぷり信貴山を満喫して、再び奈良市街  
地へ。興福寺の阿修羅像&東大寺の大仏様にご  
挨拶してきました。東大寺の二月堂から信貴山  
を眺め、三月堂でゆったりとした時間を過ごし  
ました。朝から夕方まで本当に一日中歩き尽  
しました。



三日目

激しい筋肉痛を抱えて、奈良を旅立ち大阪へ。  
サクツと大阪城を見学し、お昼には大阪名物た  
こ焼きをいただきました。

そして、もう一つの旅のメインまちライブラ  
リー「@もりのみやキューズモール」を訪ね  
ました。壁を埋め尽くす一面の本。明るい店内  
には、食事を楽しむ方、本を借りていく親子連  
れなどがいてとても素敵な光景でした。いつか  
記念館の蔵でも、そんな光景を見てみたいです。  
そんなこんなで、今回の奈良&大阪旅行も無事  
に終わりました！次はどこへ行くのかな……？

『躍動する絵に舌を巻く  
信貴山縁起絵巻』  
著/泉 武夫 小学館

国宝「信貴山縁起絵巻。ものす  
ごい法力を持つ僧が欲深い長者  
を懲らしめるため、引田天功も  
びっくりの不思議な術を使う。  
SFアニメの原点ともいわれ、平  
安時代の人々の想像力と生き生  
きとした表情が楽しめる。



虎は信貴山のシンボル。聖徳太子が物部氏討伐の戦勝祈願に訪  
れた時、四天王が出現。それが寅の年、寅の日、虎の国だった  
という伝説に因む。



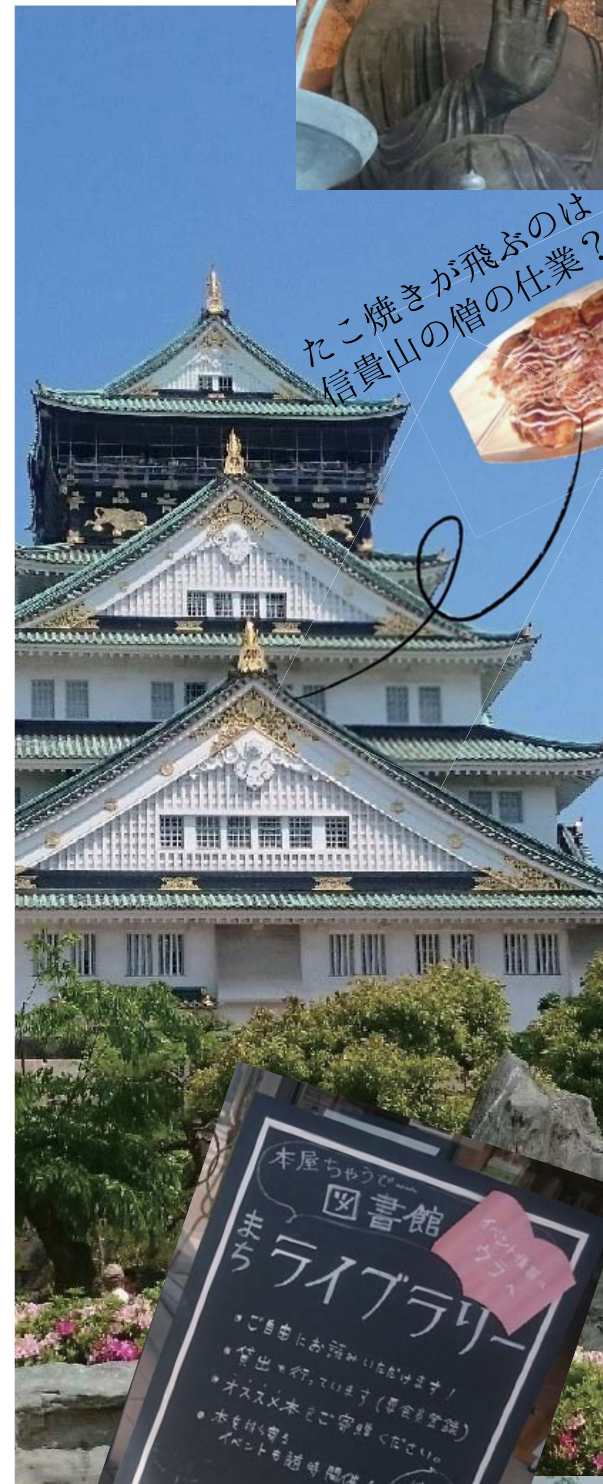
春日大社にて。朱色  
の鳥居が旅の気持ち  
を盛り上げる。

信貴山の宿坊での朝、猪の親子に  
遭遇。鹿に、虎に猪。奈良は動物  
にとっても花の都？

奈良の大仏こと東大寺盧舎那仏



清々しい青空に  
映える大阪城。



たこ焼きが飛ぶのは  
信貴山の僧の仕業？！



おしゃれな看板  
（上）と、素敵  
な空間（右）。  
蔵DE Booksも見  
習いたいです。

物語を支える主人公の魅力！

〜第一回〜

文 小町

平家物語を読んでいて、作中での主人公の移り変わり、主人公と対比されるものの性質・性格について興味を持った。物語の中で言えば、善なる重盛と悪なる清盛、賢い重盛と愚かな宗盛、それから勇ましい知盛と臆病な宗盛といったようなものが代表的だ。平家物語はこうした人間関係をうまく使って物語を支える構造を作っている。つまり、こうした対比関係は、人物関係の把握や、物語の分かりやすさにつながっているとても重要な部分なのだ。平家物語はこうした性質をときに史実に反するような記述をしながら描いていく。そうした意味で平家物語は非常に物語的である。物語として分かりやすくなるのなら、史実を犠牲にしてみようというスタイルなのだ。マイナスの性格とプラスの性格を持つものを並べること、プラスの性質を持つものが美化され、さらに主人公のもつ

主人公らしさはさらに磨きがかかる。こうして、読者に愛されるキャラクターが生まれ、その物語自体も愛されるということにつながっていく。このように、平家物語では物語の主軸となる登場人物にはプラスの要素が付与され、それが対比されることで読者を物語に惹きつけるといった仕組みがあるように思う。読者は主人公の持つ資質に憧れを抱くのである。

しかし、プラスの性質を持つ主人公だけが読者を惹きつけるわけではない。源行家がまさにプラスの要素、「善」でない魅力をもった登場人物であったと思う。一般的な平家物語のエピソードの中で、行家は「わけの分からない」人物である。通常、平家物語では親子や主従、そして男女というストーリーの型にはめて物語を形作っていくが、この人物の物語ではそのどれにも当てはまらない。

今回は、平家物語の「泊瀬六代」というストーリーを取り上げる。その中で、源行家の性格に注目し、「善」とは異なる主人公の魅力に迫ってみたい。

おすすめ  
本

『一ドルの価値／  
賢者の贈り物』  
O・ヘンリー作  
光文社古典新訳文庫



もし千ドルあったら、あなたなら何に使いますか？

O・ヘンリーの短編集、『一ドルの価値／賢者の贈り物』(光文社古典新訳文庫)に収められた短編の中に、「千ドル」という作品をご存知だろうか…。



およそ670万円の使い道。物語の行方は…。

物語の主人公であるジリアンは、ある日「千ドル」を叔父の遺産として受け取ることとなる。千ドルを受け取る条件として提示されたのは、「千ドルの使い道を弁護士に書面で報告する」というものだった。当時の千ドルの価値は、日本円でおおよそ670万円になると言われている。物語の中でも千ドルで出来ることとして、家を買うこと、百人の赤ん坊に三ヶ月間ミルクを飲ませること、病弱な妻を保養に行かせること、などが挙げられている。

はたして、叔父の遺産をどのように使うのか。ジリアンの心意気と、O・ヘンリーならではのどんでん返しに注目してほしい。

他にも、表題作「賢者の贈り物」、「一ドルの価値」。そして、O・ヘンリーの名は知らずとも、多くの方がご存知であろう「最後の一片」などが収められている。その全てが、人間味やユーモアに溢れる作品であり、彼の作品を読んだことがない方にとっては、うってつけの入門書である。 ※今回おすすめした本は、蔵にはありません。ご了承ください。

遠野物語と妖怪

①「マユヒガ」

文 大納言



遠野物語という本をご存知でしょうか？民俗学の本として有名なため、堅苦しい本ではないか？と思ってしまう人も多いでしょう。でもそんなことないのです。遠野物語に収録されているお話は妖怪やお伽噺も多く、そこまで堅苦しいものではありません。民俗学の入門や妖怪について知りたいという人にはぜひ食わず嫌いせず手にとってもらいたい一冊です。

例えばマヨヒガ。これは山中に突然現れる不思議な家のお話で、その家にある物を持ち帰ると幸せになれるというものです。「うしおととら」や「ゲゲゲの鬼太郎」にも登場しているもので、本編は読んだことはなくても知っているよって人はいるかもしれません。



## 本だけじゃない 蔵のイベント 情報



# ご案内

### 小さな蔵の映画祭

場所：矢板武記念館 西蔵

開場：10:00

上映開始：10:10開始

—上映作品—

7/30(土) 「ライムライト」

9/24(土) 「街の灯」



### 蔵DE Night!

日付：9/24(土)

場所：矢板武記念館

庭及び西蔵、東蔵



他にもイベント  
企画中。詳しく  
は蔵\*武  
project の  
Facebookページ  
をご覧ください。



### 蔵DE Books利用案内

- ・入館料100円。  
(蔵で飲み物の提供あり)
- ・貸出し可。(一人2冊。2週間まで)
- ・利用時間(注)片付け時間を含む。  
4月~10月 9:45~15:30  
11月~3月 10:15~14:30

- ・休館日は月曜、火曜、祝日の翌日及び、  
年末年始(12月27日~1月5日)

※駐車場はありません。

市役所駐車場をご利用ください。

### まちライブラリーに加入しています!

まちライブラリーとは、まちのあちこちに本棚を置き、本を通して人との縁を繋ぐ活動です。全国で展開しています。

### 本の寄贈について

受付日：毎月最終土曜日

受付先：矢板武記念館受付

※スペース等の都合により、本を本棚に並べられないこともあります。

※公序良俗に反するもの、宗教や思想色の強い本を並べることは出来ません。

寄贈の際は、メッセージカードに感想などを記入してください。

本に付いたメッセージカードが次々に本を読んだ人たちの想いを伝えていきます。



蔵DE Booksの全ての本にはまちライブラリーのシールを貼付。

蔵\*武project：矢板武記念館の蔵を人が集まる場所に再生することを目的に、矢板武塾卒生を中心とした20~30代の若者達が活動。

お問い合わせ：p.kuratake@gmail.comまでメール

